

# 令和7年度 学校関係者評価委員会の評価報告

奈良文化幼稚園

1. 学校関係者評価実施日 令和8年3月30日(月) 10:00～
2. 参加者 石川 博子、山田 百代、西川 由実子、評価委員(6名) 計9名

この度、学校関係者評価を行う評価委員会を設置し、令和7年度 自己評価公表シートをもとに評価委員に評価をしていただきました。

○自己評価公表シートを受けて

## 【大項目】Ⅰ教育活動に関するもの

- ・元気に体を動かす機会が園だけなのでありがたい。
- ・自分で工夫して作品を作るので、創造、創作意欲が身についた。
- ・保育者との信頼関係ができていからこそその厳しさがあってよいと思う。
- ・1号認定、2号認定の給食の配慮をしていただいている。給食の内容がよい。体のことを考えた健康元気給食のメニューである。
- ・他の園と比較して、のびのびと遊べるので本園を選んだ。たくさん子どもたちと触れ合えるのがいいと思う。
- ・行事が多いという意見もあるが、幼稚園では季節の行事に触れることができるとてもよいと思う。

## 【大項目】Ⅱ学校経営に関するもの

- ・低いブランコから高いブランコなど、段階を追って経験できる環境がよい。
- ・本園の魅力は園庭だと思うので、今後も力を入れてほしい。
- ・若手の先生の育成が大変そうである。先輩の先生達の関係というより、世代間なのかなと思う。保護者がサポートできる面があれば教えていただきたい。
- ・教育相談のカウンセラーの方のプロフィールがわかりにくいので、利用が少ないのかもしれない。園を通じて予約を行って、気を遣う。アプリで予約ができたらいいかもしれない。
- ・SNSの使い方は個人の感覚によるが、モラルがあると思う。園として約束事は行事のたびに注意事項として手紙に入れていただくのがよいかもしれない。担任やクラス役員さんが参観前に注意事項を確認するのがよいかもしれない。
- ・育友会委員さんは年少・年中、年長と学年で負担が違うと思う。育友会の内容をもっと知らせる参加しやすいかと思う。

## ○保護者アンケートを受けて

- ・子どもが保護者の話を聞き入れないことが多いので、保育者や友達からの話の方が聞きやすいのでありがたい。
- ・異年齢の関わりができるのがよかった。自然とお兄ちゃん、お姉ちゃんの意識が芽生えた。
- ・幼稚園の間に好きなことを存分にさせてあげたい。保護者により園の特色の捉え方も違うと思うが、様々な考えの中で子どもたちは育っているのだと感じる。園のカラーの捉え方も違う。
- ・体験入園のときから先生達の対応がよかった。子どもたちの名前を早く覚えてもらえるので、嬉しく安心できた。
- ・保育室の改修により雰囲気落ち着いてよくなった。これからの変化も楽しみにしている。
- ・木登りができるのも本園の特色である。他園では大人の責任になるからか、遊びが規制されていることが多く、試す場がなくなっている。自分の力を知ることができる環境である。
- ・創作の劇を観てみたい気持ちもある。
- ・夏祭りなども楽しそうだが、育友会の負担も考えると実施が難しいかなと思う。
- ・始業式、終業式の日保育を新2号認定もしてもらえると助かる。
- ・新入園児は玄米に慣れていないので、慣れるまで白米選択ができればありがたい。
- ・1号認定の預かり保育は子育て支援としてありがたい。
- ・1号認定のおやつの内容を2号認定のようにおにぎりなどの捕食的なおやつにしてもらえるとうれしい。
- ・駐車場の小屋前にいく通路をふさいで駐車する人がいた。そのゾーンは通路であることを知らせてほしい。
- ・園長先生による保護者イベントであるほっこり味噌を卒園してからも購入できたらいいなと思う。

以上の意見が出ました。この意見をしっかりと受け止め、今後も職員一丸となってよりよい教育と保育の充実を目指してまいります。